



緑が丘中が3年連続16度目の全道へ！ 平成19年度上川代表決定戦

平成19年度上川代表決定戦は、7月12日中富良野中学校を会場に行われました。決勝は、3年連続の緑が丘中と今大会旋風を巻き起こしている土別中の対戦となりました。試合は、5分に山口が先制点を奪った緑が丘中が土別中を終始圧倒。終了間際には、鷹橋、永田が加点し、3対0で土別中を破り、3年連続16度目の全道大会出場を決めました。全国をかけた全道大会は、8月3日から5日に釧路市で行われます。緑が丘中の健闘を期待します。

決勝 7月12日(木)

緑が丘中(旭川地区第4代表) 3 - 0 (1 - 0) 土別中(土別地区代表)

得点者 山口(5分)、鷹橋(58分)、永田(59分)(緑)

退場 畑(土)

緑が丘 GK林 DF近江、中島、石川、中村 MF三浦、鷹橋、佐藤慶、宮崎
FW山口、荒川 交替/GK薦 FP永田

土別 GK畑 DF佐久間優、安野、宮本、広瀬 MF山本、森、工藤、藤森
FW佐藤、鈴木 交替/GK池田 FP河江、三浦

主審/渡部(協会) 副審/高橋(明星)、谷山(神楽) 第4審/宮川(東光)

【戦評/則未(啓北)】

決勝は互いに2試合目となるため、コンディショニングが大きな鍵を握ると考えられる決勝。特に土別は緑が丘の中盤のパスワークにどれだけ、プレッシャーが与えられるかにかかっている。緑が丘はDFラインの近江、中村も加わりMF三浦、鷹橋で攻撃をビルドアップ。左右のアウトサイド、宮崎、佐藤慶の両サイドを使って、攻撃の糸口を探る。FW佐藤のカウンターに活路を見いだす土別だが、緑が丘の組み立てにDFラインがずるずる

下がってしまい、序盤から防戦一方となる。5分緑が丘は中盤で三浦がボールを奪取。山口がボールを受けるとDFのギャップに絶妙のスルーパス。FW荒川がGKの鼻先で点で合わせ、スライディングしながら足を伸ばしループシュートを決め先制点をあげる。7分にもCKから中村が、12分佐藤慶のパスから山口が、13分にも佐藤慶がミドルシュートとシュートチャンスをつかむ。緑が丘はオフザボールの動きの質が高く、土別の守備陣にねらいを定まらせない。自由奔放な緑が丘の中盤でのパスワークに土別は自陣に釘付けとなる。土別もMF森を基点に何とか反撃の糸口をつかみたいが、中島、石川のCBに素早く対処され、質の高いボールが前線に入らず攻撃にならない。DFの宮本も時折オーバーラップし、何とかゴール前にボールを運ぼうとするが緑が丘の高い守備意識、速い攻守の切り替えに相手ゾーンにボールを運べない。緑が丘はワンタッチ、ツータッチで中盤を



リズムよく支配し、ラストパスのチャンスをうかがう。しかし、土別もGK畑を軸に最後の最後で踏ん張り、何とか前半を1対0で終えた。

後半も最初のシュートは中村のFKの跳ね返りから、DF近江が放つ。風下になりながらも、中盤をグラウンダーでしっかりとパスをつなぐ緑が丘にはビハインドにはならない。右サイドの佐藤慶を使いながら、2次攻撃、3次攻撃と分厚い攻撃をくり返す。得点にこ

そならないものの、三浦、鷹橋の中盤からの配球により、佐藤慶の突破、山口のポストプレーで次の得点チャンスを虎視眈々とねらうため、土別は宮本が中盤まで進出できない。そのため、得点源の森、FW佐藤、鈴木にボールが集まらない。41分宮崎のクロスに荒川が飛び込むがGK畑がぎりぎりのところで押さえる。43分にはカウンターから山口のスルーパスにDF近江が飛び出しGKと1対1に、さらに左に展開されたボールを宮崎が2度絶妙のクロスをゴール前に入れるがFWと合わず。2点目が勝負を分けるだけに、何とか追加点をあげたい緑が丘は、左サイドの宮崎、近江を中心に攻撃を組み立てだす。左サイドバックの近江がまるでFWのようにゴール前へ進出するなど、激しいポジションチェンジで、土別の守備をほころびを広げる工夫をする。しかし、今大会1失点の土別の壁も堅く宮本、佐久間優が体を張って守る。しかし、57分緑が丘は近江がDFのウラヘスルーパス。抜け出した永田が引っかけられてPKを獲得する。このPKを鷹橋が落ちて着いて決めて、のどから手が出るほどほしかった追加点をあげた。ロスタイムには中村の右クロスに荒川がからみ、最後は永田がブッシュして優勝に花を添える3点目をあげた。



3年連続16度目の全道大会出場を決めた旭川市立緑が丘中学校



惜しくも決勝で敗れたものの、久々に旭川市以外からの決勝進出を果たした土別中学校

大会の記録

優勝 旭川市立緑が丘中学校
準優勝 土別市立土別中学校

第3位 旭川市立広陵中学校
美深町立美深中学校



士別旋風！代表決定戦は緑が丘と対戦。 平成19年度上川代表決定戦

平成19年度上川代表決定戦の準決勝7月12日に中富良野中学校グラウンドで行われました。第1試合は旭川勢同士の対戦となりました。1点を争う緊迫した試合となりましたが、41分緑が丘中山口が決勝点をあげ、旭川市中連優勝校の広陵中を1対0で破り、3年連続の決勝へと駒を進めました。第2試合はどもに旭川市代表を破って準決勝に進出した士別中と美深中が対戦しました。試合は美深中ペースで進みましたが、準々決勝に続いて士別中MF森が決勝点をあげ、2対0で勝ち、全道への代表決定戦としては12年ぶり、上川代表決定戦の決勝進出としては18年ぶりに旭川市以外の学校として勝ち上がりました。

1218

準決勝 7月12日(木)

緑が丘中(旭川第4代表)1-0(0-0)広陵中(旭川第1代表)

得点者 山口(41分)(緑)

警告 庄末, 深川(広)

緑が丘 GK林 DF近江, 中島, 石川, 中村 MF三浦, 鷹橋, 佐藤慶, 宮崎

FW山口, 荒川 交替/F P永田

広陵 GK喜多 DF森, 深川, 福井, 小野 MF松岡, 菅井, 田中, 小坂橋

FW橋本, 佐藤 交替/F P庄末, 朝光, 高橋, 斉藤, 伊藤

主審/砂川(協会) 副審/大西(附属), 森(忠和) 第4審/谷山(神楽)

【戦評/鈴木(愛宕)】

準決勝第1試合は、共に旭川地区の中学校年代のサッカーをリードしてきた強豪広陵と緑が丘の対戦。今季公式戦での対戦は初となるが、お互いの戦術は熟知している両雄だけにクロスゲームが予想された。序盤から中盤での激しい攻防が繰り広げられるが、緑が丘のパスワークが冴えを見せ、広陵はやや押しこまれ気味。広陵は右サイドに流れたFW佐藤からFW橋本へつなぐ展開をもくろむが、緑が丘DF近江の厳しいマークに合い、思うようにプレーできない。また、中島, 石川のCBも的確なカバーリングを見せ、守備を綻びを作り出さない。緑が丘はMF宮崎にFW山口へのくさびから厚みのある攻撃をしかける。広陵は庄末, 福井のCBコンビが緑が丘の分厚い攻撃を跳ね返す。26分広陵は左サイドからゴール前DFのウラへ。MF菅井が頭で押し込もうとするがノータッチ。両者決定機のないまま前半は終了する。

後半広陵は攻撃を強める。32分ゴール前の混戦からFW橋本がDFのギャップをつく絶妙のスルーパスで小坂橋へ。ワン



タッチでシュートをねらうがコントロールしきれずにシュートならない。33分緑が丘は中盤をドリブルで持ち上がったMF鷹橋から右サイドを走り込むFW荒川へ。荒川からのマイナス気味のボールをFW山口がヘッドで合わせるがミートできず。次第に鷹橋, 三浦輝を中心にポジションできるようになった緑が丘は、攻撃の形ができてはじめる。40分緑が丘は宮崎の左からのセンタリングを山口がつめる。GKファンブルしたボールを鷹橋がそのままシュート。ゴールかと思われたが広陵DF庄末が体に当てて防ぐ。41分そのCKを宮崎がファーポストに送り込む。GKがキャッチできなかったボールを山口が角度のないところからボレーで押し込み貴重な先制点をあげる。勢いづく緑が丘は攻撃の手を緩めず、中盤での速いパスワーク、荒川のドリブルで広陵ゴールに迫る。48分緑が丘は荒川の右サイドからの突破に、広陵DFがファウル。このFKを宮崎が鷹橋の頭に合わせるが惜しくもノーゴール。47分広陵は福井を中盤にあげ、攻撃的な布陣にできるが、緑が丘の中盤に押し込められシュートまでもちこめない。逆に緑が丘は52分鷹橋が右サイド二列目から上がった佐藤慶に絶妙のスルーパス。佐藤慶は直接シュートするがサイドネットに終わるが虎視眈々と追加点をねらう。これ以上失点できない広陵は必死の守りを見せるが緑が丘の攻撃は続く。ロスタイム広陵はFW橋本がゴール前でキープしたところからDFをかわし、ゴールをねらうがボールは無情にも右へ外れ万事休す。

士別中(士別地区代表)2-0(1-0)美深中(名寄地区代表)

得点者 森(6分, 44分)(士)

士別 GK畑 DF佐久間優, 安野, 宮本, 広瀬 MF山本, 森, 工藤, 藤森, 鈴木

FW佐藤

美深 GK羽田野 DF橋本, 山崎, 小口, 安東 MF松本, 八巻, 小原, 佐々木, 五嶋

FW佐藤

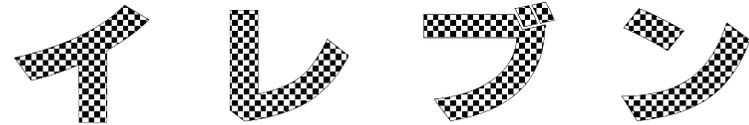
主審/矢吹(神居東) 副審/目黒(神楽), 飛世(東明) 第4審/高橋(明星)

【戦評/南向(春光台)】

準決勝第2試合は、準々決勝で旭川地区代表を破った美深中と士別中の対戦となった。美深のキックオフで始まった試合は、美深ペースと思われた6分、中央付近の奪い合いでボールを得た士別MF森がドリブルで持ち上がり、ペナルティエリア外から右足で意表をつくシュート。GKの頭上を破り、ゴールネットに突き刺さって先制点をあげる。その後20分過ぎには中盤の横パスを受けた美深MF松本が30mの距離から強烈なロングシュート。士別GKもよく反応すると、ボールはクロスバーに当たってこぼれ、DF宮本がクリアする。この他にも士別DFのミスも逃さずウラに抜けだし、チャンスをつくるも決めきれずに美深は前半無得点で終わる。対する士別は前半終了間際CKを得て、クリアボールを拾いシュートを放つもGKの正面につき追加点ならず。前半は1対0士別のリードで終わる。

後半は立ち上がり、やや士別がペースを握るも34分、士別MF工藤からのパスを受けたFW佐藤がGKと1対1のチャンスをつくるが追加点を奪えない。一進一退のまま試合は進み、44分ペナルティエリア外でボールを受けた士別森が浮き球をそのままゴール前へロビング。ボールは美深GK羽田野の手に当たりそのままゴールへ、待望の追加点をあげた。47分には、美深MF佐々木が士別陣内左を深く入り、ゴール前へマイナスのボールを出す。これにMF八巻が反応し、ワンタッチ目を右ヘトラップした後、シュートをうつもDFにカットされた。やや足がとまっていた美深はロスタイム、士別CKをクリアしたボールを右サイドではっていた松本へつなぐ。松本はドリブルでDFを振り切り士別GK畑と1対1になるも、畑の前への飛び出しに止められる。試合はこのまま2対0で士別の勝利に終わった。再三の決定機に決めることのできなかった美深に対して、前半のワンチャンスをものにした士別が優勢にゲームをすすめることができた。





士別中、啓北中を破って準決勝へ！ 平成19年度上川代表決定戦

平成19年度上川代表決定戦は、7月14日に中富良野中学校グラウンドで開催しました。釧路で行われる全道大会への出場権をかけたこの大会、大会第1日は準々決勝4試合が行われました。第1試合では旭川市中連優勝校の広陵中が登場。開始2分にオウンゴールで先制点を奪うと、26分庄末、38分橋本、40分小板橋と加點し、中央地区代表の東神楽中を4対0で一蹴。ベスト4に進みました。第2試合は士別地区代表の士別中と旭川市準優勝の啓北中が対戦。士別中の中盤でのプレスに啓北中の攻撃が機能せず。後半風下になりながら開始早々にMF森があげた1点を守りきり、昭和62年以来21年ぶりに準決勝進出を果たしました。

準々決勝 7月11日 中富良野中学校

広陵中(旭川第1代表)4-0(2-0)東神楽中(中央地区代表)

得点者 O・G(2分)、庄末(26分)、橋本(38分)、小板橋(40分)(広)

警告 北村(東)

広陵 GK喜多 DF森、深川、福井、小野 MF松岡、菅井、田中、小板橋

FW橋本、佐藤 交替/FP庄末、朝光、高橋、斉藤、伊藤

東神楽 GK原田 DF鈴木、久保、坂井、山川 MF小出、宮本、水戸、須藤

FW菅原、朝日 交替/FP鳥毛、宮腰、水上、安達、北村、杉原

主審/砂川(協会) 副審/高原(神居東)、高橋(明星) 第4審/宮川(東光)

【戦評/小林(緑が丘)】

上代第1試合は旭川市以内大会優勝の広陵中と中央地区代表の東神楽の顔合わせとなる。前半キックオフは東神楽。晴天ではあるが、やや風が強い。2分過ぎ広陵はCKのチャンスを得るとFW佐藤が蹴ったボールを東神楽GKがキャッチミス。ゴール内に落としてしまい早々と広陵に1点を与えてしまう。その後7分過ぎ、広陵がCKから中央に位置したMF松岡が合わせてシュート。きれいなシュートではあったが、GK原田の正面で追加点とはならない。広陵はMF松岡、田中が中央でボールを支配するし、サイドの菅井や小板橋につなぐ展開で東神楽陣内に切れ込みゴールを脅かし続ける。東神楽も前線の水戸、菅原にボールを送り込みたいが、広陵の素早いアプローチと3バックの堅い守りになかなか劣勢を打開できない。それでも25分過ぎからサイドからの展開で広陵陣内へと攻め入り始める。しかし、26分ペナルティアーケ付近のポストプレーでボールを保持した広陵小板橋が背後から倒されFKを得ると、庄末が落ち着いてシュート。ゴールを右隅に決め、2点を奪い前半終了。



後半開始早々31分に広陵はペナルティエリア右外でFKのチャンスを得ると、ファーサイドにいた庄末が頭で合わせるが惜しくも枠はずれる。続く32分にも中央を走る橋本から左サイドに位置した小板橋にパス。ペナルティエリア外からフリーでシュートするもゴールバーを越えて得点につながらない。その後も風下に立つ広陵ではあるが、勢いは止まらず38分田中が大きく前線にはじき返したボールにトップの橋本が反応。DF2人を

ふりきりGKと交差しながらもシュートを決める。さらに40分過ぎには、右から攻め入った広陵はペナルティエリア左に位置した小板橋にスルーパス。DFがまったく反応しきれず小板橋はゴールしたにフリーでシュートを決め、4点目を奪う。45分に選手との交錯プレーでGK喜多が怪我で退場するも、広陵はリズムを失うことなくゲームを支配する。選手交代を多用し、スピードの落ちない東神楽は須藤を起点に前線へとボールを送り込むが、広陵にはじき返されなかなかゴールへ攻め入ることができない。それでも中盤でボールを得た須藤や水戸がミドルシュートを放つもゴールを割ることができない。終始冷静にゲームを支配した広陵が4対0で準決勝へと駒を進めた。

士別中(士別地区代表)1-0(0-0)啓北中(旭川第2代表)

得点者 森(30分)(士)

啓北 GK石田 DF秋島、高橋、高田、干場 MF茂木、酒井、保田、大丸

FW山内、藤村 交替/FP東海林、藤原、池田

士別 GK畑 DF佐久間優、安野、宮本、広瀬 MF山本、森、工藤、藤森、鈴木

FW佐藤 交替/FP三浦

主審/矢吹(神居東) 副審/谷山(神楽)、飛世(東明) 第4審/森(忠和)

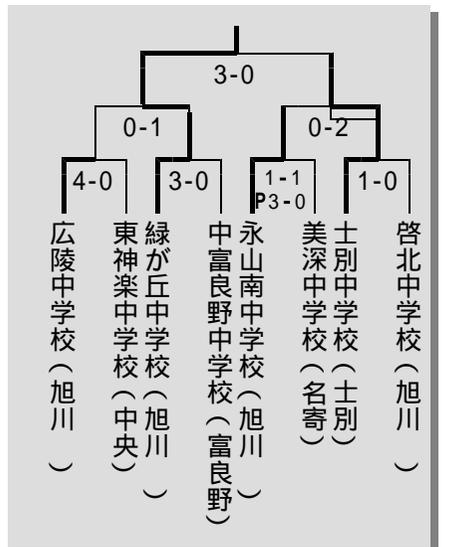
【戦評/鈴木(愛宕)】

上代第2試合は、ワントップの布陣でチャンスをねらう士別と、地区大会で活躍したFW東海林を温存する啓北の戦い。序盤両者とも中盤で短いパスを丁寧につなぐ展開。最初にシュートを放ったのは士別。5分ゴール前30m付近中央からMF森が右サイドにドリブルでボールを運びながらロングシュート。ボールはゴールに向かうが惜しくも上に外れる。

啓北は左サイドからの大丸の突破を試みるが、士別DF佐久間の厳しいマークで突破できず。11分士別は、左CKにDF宮本がヘッドで合わせるがバーを直撃。啓北は肝を冷やす。ここまでの形は啓北は17分FW東海林を投入。早くも18分DFラインで奪ったボールを大丸が縦に走る東海林に。DFをすべて抜き去ったかに見えたがオフサイド。士別は宮本のオーバーラップ、森の運動量を生かしながら中盤を優位に支配しながら、遠目からゴールをねらう。ここまで劣勢の啓北は29分、自陣から東海林が縦に走る山内に合わせてシュートに至るが枠を外れる。前半は風上の利も手伝ってか、大丸、東海林を佐久間、宮本がしっかりとマークし、攻撃の芽を摘んだ士別が優勢。



後半、風上の利もまわった啓北がどのような攻撃を見せるかが注目された。しかし、チャンスをつかんだのは士別。30分30m付近からのFKをゴール前に走り込んだ宮本に合わせるが、啓北のDF高田が競り勝ち、難を逃れたかに見えたが、そのこぼれ球の奪い合いの中、士別森が20m付近から左足でシュート。ボールはループ気味にGKの頭をこえ、ネットを揺らす。43分啓北は絶好の位置でFKを得る。DゾーンからDF酒井が直接ゴールをねらう。カーブをかけたボールは壁の上を越え左隅に向かうが、GK畑が横っ飛びでパンチし得点を許さず。ボールの支配率は啓北がやや上回っているものの、なかなかシュートには至らない。55分啓北は左CKを酒井が蹴る。ボールは緩いカーブがかかり直接ゴールへ。しかし、GK畑がワンハンドではじき、ファーポストにあたりこぼれる。残り5分となり啓北はDF高田をFWにあげるが、士別DF陣の必死の守りにあい万事休す。士別DF佐久間、宮本の攻守が光り、士別が準決勝へと勝ち進んだ。





美深中、永山南中を破って準決勝へ！ 平成19年度上川代表決定戦

平成19年度上川代表決定戦は、7月14日に中富良野中学校グラウンドで開催しました。釧路で行われる全道大会への出場権をかけたこの大会、大会第1日は準々決勝4試合が行われました。第3試合では美深中と永山南中が対戦。永山南中は10分に八重尾が先制点をあげますが、美深中も16分佐々木がゴールをあげ同点に追いつきます。その後は永山南中が決定的なチャンスを何度もつかみませんが、得点することができず。試合はPK戦の結果、GK羽田野の活躍により美深中が準決勝に進みました。第4試合は3年連続の全道大会出場を目指す緑ヶ丘中が登場。緑ヶ丘中は丁寧なサッカーで中富良野中の守備陣を崩し、9分山口が先制点をあげると、23分には鷹橋が追加点。51分には永田がだめ押し点をあげ、3対0で快勝、順調な滑り出しをしました。

準々決勝 7月11日 中富良野中学校

美深中(名寄地区) 1-1(1-1, 延0-0) <PK 3-0> 永山南中(旭川第3)

得点者 佐々木(16分)(美) 八重尾(10分)(永)

美深 GK 羽田野 DF 橋本, 山崎, 小口, 安東 MF 八巻, 小原, 佐々木, 五嶋
FW 松本, 佐藤

永山南 GK 嵯峨 DF 加藤, 渡辺, 原 MF 稲沢, 笠原, 西塚, 小谷, 八重尾
FW 巻口, 山本 交替/F 片山, 高橋佑

主審/三谷(協会) 副審/大西(附属), 高橋(明星) 第4審/宮川(東光)

【戦評/南向(春光台)】

上代第3試合は、FWの山本以外は全員が3年生の永山南と、スタメン中2年生5名、1年生1名と若いチームの美深中との戦いとなった。互いにペースをつかみきれないまま、DFの裏を狙う永山南のパスは、追い風に流される攻撃が続いた。そんな中、前半10分、中盤での縦パスを笠原がスルーしたボールが巻口へ、そのままドリブルで突破しようとしたところを美深DFに止められるが、これがファウルとなり永山南は好位置でフリーキックを得た。これを八重尾が左足で直接決め、永山南が先制する。しかし、前半16分、相手ゴールエリア右横まで攻め込んだ美深が、チャンスを得た。混戦の中からキーパー嵯峨の頭越しに折り返されたボールがゴール前につめていた佐々木の前へ。佐々木は無人のゴールにヘディングで押し込み、美深が同点とした。前半はやや永山南のペースで進むものの、美深の懸命なディフェンスもあり、1対1のまま終了



した。

後半、風は強さを増し不利と思われた永山南だったが、落ち着いたパス回しでペースを握ると、対して美深はシンプルなDF裏への配球やロングシュートで対抗した。互いに決定的なシーンが何度かあったが決まらず、1対1のまま試合は今大会初の延長戦へと突入した。延長戦も、永山南がやや優位にゲームを進めたが、途中交代の片山のシュートがポストを叩くなど得点には至らなかった。結局延長戦でも決着が着かず、PK戦となった。PK戦は、美深が3人連続で決めたのに対し、永山南は2人がGK羽田野に止められ、美深が2回戦へと駒を進めた。永山南にとっては、何度となくあった決定機を逃したことが悔やまれる。

緑ヶ丘中(旭川第4代表) 3-0(2-0) 中富良野中(富良野地区代表)

得点者 山口(9分)、鷹橋(23分)、永田(51分)(緑)

緑ヶ丘 GK 林 DF 近江, 中島, 石川, 中村 MF 三浦, 鷹橋, 佐藤慶, 宮崎

FW 山口, 荒川 交替/GK 薦 FP 永田, 宮下, 佐藤力, 小野, 滝口, 杉本, 栗山
中富良野 GK 仲条 DF 目黒, 杉原, 岩本 MF 佐藤, 阿部, 岡, 松田, 塩尻

FW 堀本, 斉藤 交替/F 鈴木, 大西, 吉武

主審/五十嵐(土別南) 副審/目黒(神楽), 森(忠和) 第4審/飛世(東明)

【戦評/高原(神居東)】

1回戦第4試合は旭川第4代表の緑ヶ丘中と富良野地区を勝ち抜いた中富良野中の対戦となった。前半は強風の中、風下の緑ヶ丘のキックオフで始まった。最初のシュートは4分、中富良野が相手陣内でFKを得て追い風を利用して佐藤が直接ゴールを狙うがゴール左に外れる。立ち上がりはお互いに素早いプレッシャーの掛け合いや風の強さで、思うようにリズムがつかめず、一進一退の攻防が続いた。しかし、9分、左サイドでボールを受けた緑ヶ丘の宮崎が相手をかろうじてゴール前にクロスを入れる。中富良野DF陣がボールの処理に手間取っているところを山口がボールを奪い、ペナルティエリア左からドリブルで進入し、落ち着いたGKの脇を抜くシュートを決め先制した。その後も緑ヶ丘は鷹橋と宮崎が、対する中富良野は阿部、堀本が攻撃の起点となったり、アクセントをつけた攻撃を仕掛けるが、両チームGKやDF陣が落ち着いて対応し、得点を許さない。早く追いつきたい中富良野は風上を利用して積極的にシュートを狙い、ゴールをおびやかすも惜しくも枠から外れる。逆に緑ヶ丘は、23分、左サイドの宮崎がくずし、中央へ折り返す。混戦から鷹橋がミドルシュートをきれいに左サイドネットに決めてリードを広げた。前半は2-0で終了。

後半に入り、立ち上がりは風上に立った緑ヶ丘のペース。グラウンダーのパスで丁寧につなぎ、シュートを立て続けに撃つが、中富良野GKの仲条が冷静に対処し追加点を取らせない。この後も緑ヶ丘がボールを支配し、中富良野がカウンターを狙うもお互いに決め手を欠き膠着状態が続く。再び試合が動いたのは後半21分、左サイドでボールを受けた近江が一瞬できたスペースを逃さず、相手ペナルティエリア付近までドリブルで侵入し、最後は永田が正面から豪快にシュートを決め、ダメ押しの3点目を奪う。試合はこのままタイムアップを迎え、緑ヶ丘が準決勝に駒を進めた。敗退したものの全校応援を受け、最後まであきらめずにボールを追いかけ、体を張った中富良野中の健闘をたたえたい。

